

附章 パブリックコメント手続

平成 26 年 6 月 7 日（月）に「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」整備基本構想（案）を公表し、平成 26 年 7 月 8 日（火）までの 30 日間、市民の皆様からのご意見を募集しました。あわせて、パブリックコメント期間内に、子どもからのご意見（キッズコメント）が寄せられました。

1 実施概要

(1) 意見募集期間

平成 26 年 6 月 9 日（月）～平成 26 年 7 月 8 日（火）（30 日間）

(2) 意見提出方法

持参、郵送、FAX、E メール

(3) 資料の配付場所

札幌市埋蔵文化財センター、札幌市役所 2 階市政刊行物コーナー、各区役所、サッポロさとらんど、札幌市ホームページほか

2 パブリックコメント（大人の意見）の内訳

(1) 意見提出者数

21 名（個人 18 名、匿名 3 名）

(2) 意見数

51 件

3 キッズコメント（子どもの意見）の内訳

(1) 意見提出者数

50 名

(2) 意見数

14 件（類似意見をまとめた数）

4 意見の概要と札幌市の考え方

類似した意見については、まとめさせていただいたうえで本市の考え方を示しています。

第1章 事業の目的				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
1	第1章	事業の目的	国が埋蔵文化財を活用したまちづくりを自治体に求めていることを根拠に、この基本構想を策定するのはいかがなものでしょうか。国の予算はいつ撤回されるかわからないものであり、札幌市として恒久的に維持していくことがむしろ困難になるのではないかと、という議論が全くないこととおかしいと感じます。	本基本構想（案）は、本市として、札幌の特色ある文化財を積極的に活用していく方針のもと、地域の歴史資源、文化資源、教育資源として、市民の皆様とともに、丘珠縄文遺跡の価値を将来へ伝えていくことを目的に策定したものです。 今後も、地域の資源を恒久的に伝えていくことができるように、予算や運営体制等について、検討を進めていきます。

第2章 事業の位置付け				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
2	第2章 -2-(2)	基本構想の策定に至る経緯	H508 遺跡は、「アイヌ文化」や近現代の文化といった中世相当期以降の文化と関係がないにもかかわらず、関係委員会のメンバーにそのような分野に関わるとしか考えられない人物名が上げられていたり、市民以外の人物名が上げられていたりしているが、そのような必要性はまったく認められない。	遺跡公園の整備基本構想・計画では、遺跡の保存・整備・活用に関わる多様な内容について、様々な視点から検討する必要があることから、検討委員会は、考古学を中心とした様々な領域を専門とする有識者を中心に、市民の立場を代表する地元代表者や公募委員を含めた構成としています。 なお、H508 遺跡は縄文文化の遺跡ですが、本市のアイヌ施策推進計画には「さとらんど」の遺跡の保存が位置付けられており、また、専門性を考慮して必要に応じて市外在住の有識者にも委員を委嘱しております。

第3章 丘珠縄文遺跡の概要				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
3	第3章 -6	丘珠縄文遺跡の概要	26 頁第 6 図の遺物分布を見る限り、調査範囲はかなり限定的な印象を受けます。20 頁の文言に、「平成 4・5 年に実施した遺跡の有無を調べる予備調査（試掘調査）で、広い範囲から土器や石器が見つかっており、市内でも有数の広がりを持つ縄文文化の遺跡であることが明らかになっています」とありますが、調査は当面当該力所で必要十分なのでしょうか。その根拠をお教えてください。むしろ今後の発掘調査計画を開示し、それをたんたん進め広い範囲に網かけをして遺跡の全貌を明らかにしていくことが、遺跡公園計画を打ち出す前に、肝要と思いますが、いかがでしょうか。	遺跡は、現在ある状態のまま将来に伝えていくことが大切です。広範囲で発掘調査を行えば、遺跡の全貌が明らかになる一方で、発掘して遺跡を掘り下げてしまうと、遺跡そのものは失われてしまうため、次世代に伝えていくことができなくなります。したがって、遺跡公園の整備に際しては、遺跡の本質的価値を明らかにするために、必要最低限の範囲について発掘調査を行い、その成果を十分踏まえた整備を行う必要があります。 なお、平成 25 年度の確認調査では、トレンチ調査により、縄文文化の地層の状態や遺構・遺物の分布状況の概要など、基本構想の策定に向けて、一定の成果を得ることができたと考えています。

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
4	概要版 第3章-6 第4章-1	丘珠縄文遺跡の概要整備の意義	基本構想（案）の概要版に簡潔に示された「広い」、「低い」、「多い」、「貴重」というキーワードがありますが、少なくとも、当該遺跡自身から語るのではなく、他の遺跡との比較、もしくは新奇性でその重要性を語ることが、一般市民には理解しやすくないと思います。公園整備の必要性をいくつか上げておりましたが、例えば、「市内の縄文文化の遺跡ではじめて見つかったヒエ属の種子は、近接するH317遺跡の続縄文文化初頭のヒエ属種子と合わせて、ヒエ属の栽培化や利用方法を検討する上で、たいへん貴重な資料」（24頁）云々とあります。非常に意義のある研究とは思いますが、その研究には公園整備が必須条件とは、私には思えません。他の整備理由についても、個別にもっと深化した検証が必要と考えます。	遺跡の概要における4つのキーワードは、市内の他の縄文文化の遺跡と比較し、丘珠縄文遺跡の特徴として指摘できる項目を整理したものです。 ヒエ属の種子の栽培化や利用方法を研究するために、遺跡公園を整備するのではなく、その研究成果を、実際にその場に保存されている丘珠縄文遺跡を通して広く市民に知っていただき、また、その価値を次世代へと伝えていくために、遺跡公園を整備する必要があるものと考えています。 なお、今後も、基本計画の策定に向けて、市民にわかりやすい発信を心がけます。 →【概要版】 「丘珠縄文遺跡の概要」【遺跡の特徴】に、「市内の他の縄文文化の遺跡との比較に基づき、丘珠縄文遺跡の特徴を4つのキーワードに整理しました。」を加筆します。
5	概要版 第3章-6 第4章-1	丘珠縄文遺跡の概要整備の意義	遺跡の価値に関連して、丘珠縄文遺跡の特徴が4点、「広い・低い・多い・貴重」とあります（概要版）。これら特徴が、何と比較して発信するに値する「特徴」と言えるのかがわからない。例えば、「ヒエ属の種子発見」は何がすごいのか、何がわかるから特徴としてピックアップするのかがわからない。第三者にもわかるように、「まれで顕著な特徴」を意識して、「価値」を説明してほしい。	
6	概要版 第3章-6 第4章-1	丘珠縄文遺跡の概要整備の意義	遺跡の特徴の「貴重」の部分も、それが何故貴重なのか全くわかりません。モノや遺物は、人間の日々の精神的営みの結果であり、唯物史観による文化の解釈には違和感を覚えます。再考を。	

第4章 整備の基本方針				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
7	第4章-2	遺跡公園の位置付け	車いすや視覚障がい者にも分かりやすいバリアフリーな配慮も必要かと思えます。	ご意見を参考に、障がいのある方も利用しやすいように、バリアフリー等の導入について、基本計画の中で検討を進めていきます。
8	第4章-2	遺跡公園の位置付け	障がい者の方々も気安くこれのような仕組みを作っていただきたい。	
9	第4章-2	遺跡公園の位置付け	国内や国外の観光客へのPRも必要ですが、札幌は近隣市町村の小学校などの修学旅行先にあげられることが多いと思います。その学習の場として活用してもらえよう、さまざまな便宜を図るべきだと考えます。	ご意見を参考に、学校教育との連携について、基本計画の中で検討を進めていきます。

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
10	第4章-4 第4章-5	整備の基本方針 整備の方向性	あまりコンクリートで固めたようなレジャー傾向の公園にしてほしくないです。	ガイダンス施設や体験学習施設を設置する方針ですが、具体的な整備方法については、ご意見を踏まえ、基本計画の中で検討を進めていきます。
11	第4章-5-(1)	整備の方向性	H508 遺跡のものだけではなくて、札幌全体の縄文文化について知ることができる場所になってほしいと思います。	縄文文化からアイヌ文化期を通じ、札幌の歴史のつながりを踏まえ、縄文文化の魅力を感じることができるように、札幌の縄文遺跡の情報を発信していく方針です。 なお、展示の内容については、基本計画の中で検討を進めていきます。
12	第4章-5-(1)	整備の方向性	今まで札幌には明治以降の歴史的物しかない印象がありましたが、今回の公園整備によって縄文時代までさかのぼった歴史展示が実現します。札幌の歴史に厚みが出る、たいへん画期的なことだと思います。	
13	第4章-5-(1)	整備の方向性	丘珠地区は明治の開拓の歴史もあり、何かその土地のロマンなり、物語が生まれてくるような公園にして欲しい。	
14	第4章-5-(1)	整備の方向性	現状では展示内容は固まっていないようですが、基本構想のイメージからはアイヌ文化とのつながりを説明する要素が少ないような気がしますので、そのへんの学問的な補強と展示での工夫などがあれば、より一層すばらしいものになるのではないのでしょうか。	
15	第4章-5-(1)	整備の方向性	基本方針1-方向性②について、市民のための遺跡整備とは思えません。学者・専門家のための遺跡整備なのではないのでしょうか。シンポジウムにも参加しましたが、とても市民目線で発信しているとは思いませんでした。もうこれ以上発掘しなくても良いのではないのでしょうか。30年間やってきたことをきちんと市民に公表すべきだと思います。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
16	第4章-5-(1) 第4章-5-(2)	整備の方向性	地中に保存しておくよりも、埋蔵文化財に対する学習の場や普段ふれる機会のない埋蔵文化財にふれる機会を作ってもらえる方がありがたい。	市民との協働により継続的な調査・研究を行う方向性や、縄文体験活動を展開する方向性を通して、縄文文化を体感できる場を創出する方針です。 ご意見を参考に、体験や学習の内容について、基本計画の中で検討を進めていきます。
17	第4章-5-(1)	整備の方向性	発掘調査や整理作業の体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見15件）。	
18	第4章-5-(1) 第4章-5-(2)	整備の方向性	縄文文化や縄文人のことを学ぶ機会を作してほしい（「縄文学校」の設置など）（キッズコメント：類似意見4件）。	
19	第4章-5-(2)	整備の方向性	多くの市民、多様な年齢の方々が楽しめ、考古学に興味を持ってもらえる公園にしてください。	子どもから大人まで楽しみながら参加できる縄文体験活動を展開していくことを目指しています。 ご意見を参考に、多様な世代の方々が、楽しく学べる施設になるように、今後、基本計画の検討を進めます。
20	第4章-5-(2)	整備の方向性	大人はもちろん、子供たち（小学生）が体験学習を通して歴史や縄文文化に興味をもてるような公園になるといいと思います。	
21	第4章-5-(2)	整備の方向性	子供たちも大人（老人）も楽しめるように制作される事を心よりお願いいたします。	
22	第4章-5-(2)	整備の方向性	子どもから大人まで楽しみながら、色々な体験ができる公園にしてほしい（キッズコメント：類似意見3件）。	
23	第4章-5-(2)	整備の方向性	さくらんなどはファミリーで集う人が多いので、この世代を中心に一部の人向けにならない施設になってほしいと願います。	
24	第4章-5-(2)	整備の方向性	私自身歴史を学ぶとなると堅苦しい感じがして入り込みにくい部分があります。よく資料館等にある様な展示物や年表だけで構成されているものを見ても、小さな子供と一緒にあればじっくり読めなかったり、興味がわかなくなったりします。体験施設ゾーンという物が作られるようなので、小さな子供からでも入り込みやすいものになれば、歴史に関してや今の札幌、北海道がどのようにできたのか等興味がわくのではないかと思います。何度行っても楽しめる、楽しく学べる施設作りを楽しみにしています（縄文時代に着ていた物を着る、食べていた物を食べる、作って食べてみる、堅穴住居宿泊体験等）。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
25	第4章 -5-(2)	整備の方向性	丘珠縄文遺跡の体験活動に、この遺跡の「Q&A」集を作成してほしい。	ご意見を参考に、体験活動の内容について、基本計画の中で検討を進めていきます。
26	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の道具（土器、石器、弓矢、斧、縫い針など）を作ったり使ったりする体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見93件）。	
27	第4章 -5-(2)	整備の方向性	昔の道具を使って、木の実の採集や作物の収穫等の体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見3件）。	
28	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の衣服やアクセサリーを作ったり、身に付けたりする体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見38件）。	
29	第4章 -5-(2)	整備の方向性	火おこし体験で、実際に焚き火ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見13件）。	
30	第4章 -5-(2)	整備の方向性	竪穴住居を作って、実際に寝泊まりしたり生活したりする体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見21件）。	
31	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の食べ物を作って、食べられる体験ができるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見21件）。	
32	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の村のくらしを体験できるようにしてほしい（キッズコメント：類似意見12件）。	
33	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の食べ物を食べられるレストランや、暮らしを体験できるホテル、食材や道具を売っているお店などがあるといいと思う（キッズコメント：類似意見11件）。	
34	第4章 -5-(2)	整備の方向性	遺跡の探検をしてみたい（キッズコメント）。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
35	第4章 -5-(2)	整備の方向性	縄文文化の住みや道具などを展示する博物館を作ってほしい(キッズコメント：類似意見6件)。	<p>ご意見を参考に、ガイダンス施設の規模・デザインや展示の内容、屋外展示の内容、体験学習施設の内容や運営体制について、基本計画の中で検討を進めていきます。</p> <p>なお、遺跡の発掘調査の方法や札幌市内の遺跡の分布等については、札幌市埋蔵文化財センター(札幌市中央区南22条西13丁目)で展示しております。</p>
36	第4章 -5-(2)	整備の方向性	建造物そのものは規模は小さめで、豪華さはなくとも、又、足を運びたくなるようなオリジナリティのある魅力的な建物に仕上げれば良いかと思います。	
37	第4章 -5-(2) 第4章 -5-(3)	整備の方向性	体験学習施設については、その概要がわからないので、軽々には言えませんが、コストは、それなりかかり、且つそれを支えるボランティアを含む要員体制の構築は、簡単ではないということは言えると思います。今後市民の意見を拝聴してからということかもしれませんが、他府県の事例をモデルケースとして、それを下敷きに「整備案」の中で開示する等をしなければ、計画の透明性を損ないます。	
38	第4章 -5-(2)	整備の方向性	現在のように、さとらんどセンターの2階端の資料室にしか出土したものが置かれていないという状態だと、本当に遺跡があるのかどうか希薄な印象があるため、さとらんどセンター1階の中央ホールに飾るとか、遺跡近くの道にプラスチック張りにして見えるように埋める(後で取り出して他のものと入れ替えたりできるように)とかして、さとらんどにいれば目に入ってくるような感じにしてほしい。	
39	第4章 -5-(2)	整備の方向性	複数ある遺跡は時代が異なる様なので、それぞれの違いが文章ではなく最悪イラストでも構わないので一目でわかる様な展示にして欲しい。	
40	第4章 -5-(2)	整備の方向性	新しく出土したものを期間限定で良いので展示するとかして欲しい。	
41	第4章 -5-(2)	整備の方向性	毎年の発掘現場での作業動画とか見てみたい。	
42	第4章 -5-(2)	整備の方向性	単に遺跡だけに焦点を当てるのではなく、発掘作業側がどういった道具や機器を使ってどのように作業を進めているのかや、地域的にどのような歴史があったり、どのような土地なのかなども知りたい。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
43	第4章-5-(2)	整備の方向性	一般市民や子供たちの体験学習については、あえてH508遺跡で実施されなくともいくらでも機会がもたれ得るし、その必要性についての説得力が十分に示されているとは言えない。	H508遺跡を活かした縄文体験活動を展開し、市民との協働で発展させていくことを目指しています。整備・保存された遺跡の調査成果に基づき、遺跡が保存されている空間で体験活動を行うことが、縄文文化の体感には欠かせないものと考えます。
44	第4章-5-(3)	整備の方向性	縄文文化などの歴史に造形の深い市民ボランティアをガイドとして数多く育成、活用されることを強く望みます。縄文検定などを創設し、ガイドの質の向上や市民の関心を高めるのも一考かと思えます。	活用・運営を市民ボランティアとともに考えていくとともに、地域の方々と連携し、施設の活用を考えていく方針です。ご意見を参考に、市民ボランティアの活動内容や地域の方々との連携について、基本計画の中で検討を進めていきます。
45	第4章-5-(3)	整備の方向性	地域の人々から永く親しまれる様(環境を含めて) 願っています。	
46	第4章-5-(3)	整備の方向性	自分たちも参加して縄文の村づくりをしてみたい(キッズコメント)。	
47	第4章-5-(4)	整備の方向性	さとらんどやモエレ沼公園周辺に、縄文遺跡公園が整備されることで、札幌の新しい観光スポットとして、ますますその価値を高めていくものと思えます。	

第5章 今後の計画				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
48	第5章	今後の計画	遺跡公園整備は決定事項でしょうか。そもそも論として、当該整備は市として決定事項なのでしょう。「(仮称)丘珠縄文遺跡公園整備基本構想(案)」の33頁「第5章今後の計画」を読むとそう読めますが。費用・体制が明らかになっていないのに、平成30年オープンとなっていることは、奇異な印象を与えます。33頁では平成27年の「基本・実施設計」において、詳細を明らかにすることですが、そうであるなら、現時点で、概算のイニシャル及びランニングコスト見通しがあると思いますが、それが「整備案」では開示されておりません。直接・間接の運営について、どの組織がどう関わるのか、これも27年度以降に開示されるものかもしれませんが、これも同様に一般市民にとって関心があることと思いますが、それについて、ふれることは、整備案では時期尚早なのでしょう。	サッポロさとらんど内に保存されている遺跡を活用して遺跡公園を整備する計画は、第2章第1節「事業の位置付け」で示したとおり、札幌市のまちづくり計画(「第3次札幌新まちづくり計画」)に施策の一つとして位置付けられています。 なお、今回の基本構想(案)は、整備の方針・方向性を示すものであり、具体的な整備内容や運営体制・費用等については、今後、基本計画の中で、検討を進めていきます。

その他の意見				
No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
49		事業全般に関する こと	さとらんどで3カ所も遺跡が発掘され 広大に広がって分布しているところが 非常に珍しいのではないかと思います。 縄文文化の遺跡である丘珠縄文遺跡を 活用され、後世にわたり残る丘珠縄文遺 跡公園を整備（実施）する事業に賛成で す。	<p>ご意見を踏まえ、遺跡の価値を将来に伝達して いくことができるように、丘珠縄文遺跡の整備事 業を進めていきます。</p> <p>なお、検討委員会には公募した市民委員にも入 っていただき、市民の立場から、本事業について ご意見をいただいています。また、幅広い世代に 参加いただいた確認調査の市民ボランティアの皆 様からも、アンケート調査や意見交換会で、遺跡 公園の整備について貴重な意見をいただしていま す。</p>
50		事業全般 に関する こと	今回の「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」の 整備は、たいへんすばらしい事業だと認 識しています。	
51		事業全般 に関する こと	札幌市では遺跡が発掘されているも のの公園としての整備はまだ行われて いないようです。今回、さとらんどに計 画されていることを知り、とても嬉しく 思います。いろんな問題があるかと思 いますが、地域の人たちの希望でもあり ます。早く実現してほしいと願ってい ます。	
52		事業全般 に関する こと	公園のテーマが私達の孫、ひ孫にも続 きますには整備第一ですので、よろしく 頼みます。	
53		事業全般 に関する こと	実現するために、若者（中高生位）を 会議に招き、プロ視線とは違った角度か ら意見を出してもらい、幅広い世代に活 用してみよう、行ってみようと思う施設 にして下さい。	
54		事業全般 に関する こと	なぜ、このタイミングで遺跡公園を整 備するのか。さとらんど造成時に整備す ればよかったのではないか。その説明が 不足している。さとらんどの一部を取り 壊すのであれば、それに投資した税金 （血税）が無駄になるが、その金額を提 示すべき。メリットとデメリットを全て さらして市民に判断を仰ぐべきではな いか。	
55		事業全般 に関する こと	遺跡公園の整備により、「さとらんど」 がどのような影響を受けるのか示され ていない。	
56		事業全般 に関する こと	低迷している「さとらんど」に集客を 促すために、さとらんどの一部を「(仮 称)丘珠縄文遺跡公園」として再整備す るという構想なののでしょうか。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
57		その他	遺跡公園などというものは、さくらんどのようなところよりも、周知の埋蔵文化財包蔵地の大部分を擁し、歴史上重要な埋蔵文化財が発掘されている「北海道大学」の構内に設けるべきではないか。	<p>ご意見を参考にしながら、市内の遺跡の保護や活用については、文化財保護法に則り、引き続き適切に進めていきます。</p> <p>なお、北海道大学の構内には、「遺跡保存庭園」が設けられ、遺跡の保存が図られており、市民にも開放されています。</p>
58		その他	<p>「遺跡公園」を都市の周縁近くに位置付けるあり方は、人々の過去の歴史を現在の文化から遠ざけて理解させる要件をなしており、それは過去の文化を「遅れた文化」として軽んじているといえることができる。札幌圏の平野部には、より重要な遺跡群が中心部にあって、それこそ札幌圏の変貌を顧みる上で、貴重な文化財とすることができるが、それに対して札幌市は「緑地」化や「公園」化という不適切な手段によって文化財保護法や都市化にヴェールを被せ、それらの遺跡や史跡あるいは庭園としての理解から市民の目をそらさせてきている。H508 遺跡を文化財として保存することについては望ましい面があるにせよ、札幌市としては、「公園」化をひとまず控え、より重要な文化財保護対策にこそ責任をもって当たるべきである。</p>	
59		その他	この地域の遺跡群の本質的な価値を問うのであれば、札幌周辺の数多くの遺跡との関連は無視できないことは当然です。とりわけ都市中心部に位置する「偕楽園緑地」～伊藤義郎邸敷地が変容されながらも残されていることの意義は大きく、変容の歴史を明らかにし記録すること、今後どのように都市計画の中に位置付けていくかを議論することは、さくらんどの遺跡の今後を考えるための重要な課題を明らかにしていくことになると思います。	
60		その他	これで縄文遺跡の整備を終わりとするのではなく、できれば縄文海進時、多くの住居遺跡が集中する、札幌市西側の本格的な遺跡調査、公園整備ができればよりよい未来への資産となるのではないかと考えます。	
61		その他	公園というと、都市公園法や自然公園法に基づくものが一般的ですが、「(仮称)丘珠縄文遺跡公園」は、どのような法に基づく公園なのでしょう。	
62		その他	モエレ沼公園造成のためにすでに一帯の自然は充分に変容され、さくらんどうして遺跡群は充分に保護されているように感じます。	

No.	該当箇所		意見の概要	札幌市の考え方
63		その他	<p>「さとらんど」自体も、モエレ沼公園に編入し、モエレ沼公園の一部として整備したほうがよい。近接する施設なのだから、農政部や文化部、緑化推進部が別々で維持管理をするのではなく一元化すべき。</p>	<p>サッポロさとらんどやモエレ沼公園など、近隣の文化施設と連携し、地域の歴史や文化にふれることができるネットワークづくりを目指しています。</p> <p>なお、維持・管理に関する頂いたご意見については、関係する部署に伝えます。</p>
64		その他	<p>「縄文遺跡」という呼び名は、考古学上の学術用語としてのものではなく、その概念が明らかにされないまま比較的最近になって安易に多用されるようになったものであり、「縄文時代」に形成された遺跡という意味を持たせて言う言葉のつもりで使用されていると思われるが、「続縄文遺跡」からの「擦文遺跡」とか、あるいは「弥生遺跡」という言い方をしないところからしても、適切な呼び方と言えないことは言うまでもない。</p>	
65		その他	<p>「縄文時代」という呼称にしても、その概念の検討についてはこれまでおろそかにされたまま適用されてきている。「縄文時代」という時代呼称は、単に「縄文」状（様）の文様が付けられた土器に因むというものでしかなく、同時代に撚り紐状（様）の文様がかなり使われているとはいえ、決して粗い撚り紐のイメージを想起させるような縄目跡状（様）のものばかりではなく、撚り紐文様以外の土器も少なくない。「縄文時代」という用語を未だに使用している保守的な考古学界の従前のあり方を、もはや少なくとも北海道から返上すべきことをここに指摘しておく。</p>	<p>市民にわかりやすく発信するために、考古学の時期区分として、市民にも一般的な「縄文文化」という用語を使い、縄文文化の遺跡という意味で、「縄文遺跡」と呼称しています。</p>